I'm not a robot

2022年11月にフルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)のe-POWERは、メーカーオプションでプロパイロットパーキングを装着することができます。 ただ、e-POWERに用意されているプロパイロットパーキングは、グレードによって性能＆機能に若干の差が…。 また、この新型モデルに搭載されている他のグレードに搭載されているプロパイロットパーキングより進化を遂げて、使い勝手が良くなっているのこと。 そんな新型モデルのプロパイロットパーキングは、どこが進化したのか？また、メーカーオプションで用意されているプロパイロットパーキングの価格は、いくらだったのでしょうか？ 今回フルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)のe-POWERに用意されているプロパイロットパーキングは装着をした方が良いのか？特徴や価格、使い勝手を徹底解説したいと思います。 新型セレナのプロパイロット パーキング【特徴や魅力をチェック】 駐車を支援するプロパイロット パーキングは今回デビューをはたした新型セレナ(SERENA)だけではなく、他の日産車にも搭載されています。 ただ、この新型モデルに用意されているプロパイロット パーキングは、他の日産車より機能＆性能が高い最新モデルとなっています。 この新型モデルのプロパイロット パーキングは、他の日産車のものよりもドコが優れているのでしょうか？特徴や魅力、注目ポイントを包み隠さず紹介します。 スイッチを押すだけのプロパイロット パーキング 2022年11月にフルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)に用意されているプロパイロットパーキングは、インパネに搭載されているスイッチを押すだけで設定した場所に車庫入れや駐車、縦列駐車などをしてくれる運転サポート機能です。 【日産セレナ】自動駐車てすごかー！セレナのプロパイロットパーキング試したばい♡#セレナ #日産セレナ #佐賀 #自動駐車 #日産 この新型モデルに搭載されているプロパイロット パーキングは、ステアリングやアクセル＆ブレーキ操作だけでなく、前後の切り替えしも自動で行ってくれるため、非常に便利です。 また、切り返しを行う際の発進＆停止、ハンドル操作が従来のものよりもスムーズになっているのも好印象でした。 カメラの精度が高くなった新型セレナ また、今回フルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)に備わっているプロパイロット パーキングの注目ポイントのひとつが、カメラの精度です。 今回デビューをはたした新型モデルは、クルマの前後左右に搭載されたカメラで駐車場所を検知＆認識するようになっているのですが、カメラの画素数を300万ピクセルに増やしたそうなんですよね。(従来のタイプは100万ピクセル) そのおかげもあり、この新型モデルのプロパイロット パーキングは従来のものよりも遠くまで正確に検知＆認識できるようになったそうですよ。 プロパイロットを装着できるのはXVグレード以上 他の日産車より性能が高くなった新型セレナ(SERENA)のプロパイロット パーキングですが、グレードによって扱いが異なります。 最上位モデルに位置をするルキシオン(LUXION)は、プロパイロット パーキングを標準装備していますが、XVグレード＆ハイウェイスターは、メーカーオプションで用意しています。 一方、新型セレナ(SERENA)のe-POWERのXグレード＆ガソリン車は、プロパイロット パーキングを装着することができないので、ご注意くださいね。 プロパイロット パーキングはセットオプションで用意 先ほどもお話した通り、今回フルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)のe-POWERのXVグレードとハイウェイスターVは、メーカーオプションでプロパイロット パーキングを用意しています。 ただ、この新型モデルのプロパイロット パーキングは、純正ナビやアラウンドビューモニターなどとセットで用意しているため、オプション価格が約55万円とだいぶ高額になっています。 ■新型セレナのプロパイロット パーキングのセットオプション ただ、プロパイロット パーキングが含まれていない純正ナビなどのセットオプションとの価格差は約7万円くらいなんですよね。 つまり7万円を追加すれば、駐車をサポートしてくれるプロパイロット パーキングを装着できるという訳です。 正直に言って、これくらいの金額なら、プロパイロット パーキングを装着しても良いのかなと思ってしまいました。 新型セレナのプロパイロット パーキング【注目の機能を紹介】 カメラ性能が良くなるなど大きく進化を遂げた新型セレナ(SERENA)のプロパイロット パーキングですが、他の日産車のプロパイロット パーキングには搭載されていない新たな機能を搭載しているのも注目ポイントのひとつです。 今回デビューをはたした新型モデルのプロパイロット パーキングの注目の機能を紹介したいと思います。 リモートパーキング機能 2022年11月にフルモデルチェンジを指定新発売をした新型セレナ(SERENA)のプロパイロット パーキングの注目の機能のひとつが、リモートパーキング機能です。 先ほども紹介した通り、この新型モデルのプロパイロット パーキングは、インパネの中央に備わっているプロパイロット パーキングスイッチを押すことで、自動駐車をおこなってくれます。 ただ、新型セレナ(SERENA)の最上位モデルに位置をするルキシオン(LUXION)は、車外からインテリジェントスマートキーを使って、クルマを前進＆後退をすることができるリモート パーキング機能を搭載しています。 【新機能】新型セレナ プロパイロットリモートパーキング 最上位モデルに位置をするルキシオン(LUXION)は車体本体価格＆乗り出し価格の高さがネックですが、他のグレードにはない機能が用意されているのは、ルキシオンの良いところのひとつなのかなと思いました。 メモリー機能も搭載 また、今回フルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)に搭載されているプロパイロット パーキングの注目の機能が、新たに搭載されたメモリー機能です。 今まではプロパイロット パーキングを使用するたびに駐車エリアを設定しなければいけませんでしたが、今回デビューをはたした新型モデルは、駐車エリアを登録しておくことができるメモリー機能を搭載。 【日産セレナ】メモリー機能が付いたプロパイロットパーキング！商品企画責任者が自信を持って紹介します！【日産プリンス和歌山】 あらかじめ登録した駐車場の前にクルマを停めると、GPSの位置情報を画像情報をもとにシステムを自動的に起動。駐車開始ボタンを押すだけで、自動的に駐車をしてくれます。 メモリー機能が使用するにはあらかじめ登録をしておかなければいけないため、使用できる場所＆機会は限られてしまいます。 ただ、プロパイロット パーキングの欠点＆デメリットでもある駐車エリアを設定する手間から解放されるのは、この新型モデルの良いところのひとつなのかなと思いました。 サイドブラインドビューモニターも搭載 また、プロパイロット パーキングとは直接的な関係はありませんが、後方の視界をサポートする機能”サイドブラインドビューモニター”が搭載されるのも、注目ポイントのひとつです。 今回デビューをはたした新型セレナ(SERENA)のプロパイロット パーキングを装着したモデルで、サイドミラーを閉じた状態でカメラ表示をすると、純正ナビの画面に目視では確認することが難しい助手席側の後方の映像を映し出してくれます。 しかも、この新型モデルに搭載されているサイドブラインドビューモニターは、表示する角度を自由自在に変えることができます。(動画の4分13秒付近～) 【取扱説明書にも書いてない？！】セレナe-POWERのアラウンドビューモニターがもっと便利に！【裏技】 このように後方の視界をサポートする機能が搭載されるのも、新型セレナ(SERENA)に搭載されているプロパイロット パーキングの良いところのひとつなのかなと思いました。 新型セレナのプロパイロット パーキング【実際に使用した感想】 他の日産車のプロパイロット パーキングとは異なる特別な機能を備えている新型セレナ(SERENA)ですが、使い勝手は、どうだったのでしょうか？ この新型モデルに搭載されているプロパイロット パーキングを使用した感想を包み隠さずお話します。 思ったよりも便利なリモート機能 2022年11月にフルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)のプロパイロット パーキングを使用して驚いたことのひとつが、ルキシオンに搭載されているリモート機能の使い勝手の良さです。 私は駐車に苦手意識がないため、プロパイロット パーキングは特に必要ないと思っているのですが、車外からクルマを出し入れすることができるリモート機能に関しては、思った以上に活躍する場面が多そうな感じが…。 例えば、駐車場のスペースが狭くて、乗り降りが大変な時ってありますよね。 普段はドアをわずかに開けて、どうにか乗り降りをするのですが、リモート機能が備わっていれば、駐車をする前にクルマから降りて、車外からリモートでクルマを駐車をすることが可能です。 また、リヤゲートを開けるために、少しクルマを前に出したい時ってありますよね。 今までは少しクルマを前にだすためだけにクルマに乗り込んでいましたが、リモート機能が備わっていれば、わざわざクルマに乗り込む必要はありません。 プロパイロット パーキングは、駐車が苦手な人のための機能のようなイメージを持っていましたが、ルキシオンに搭載されているリモート パーキング機能は、駐車が得意な人でも重宝をする便利な機能なのかなと思いました。 常に駐車エリアの真ん中に停めるのが残念 今回フルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)に用意されているプロパイロット パーキングは切り返し操作もスムーズな、駐車が下手な人よりも安心感があります。 ただ、この新型モデルのプロパイロット パーキングを使用してみて気になったのは、設定した駐車エリアの真ん中に停めてしまうことです。 例えば、隣の駐車エリアに停めているクルマが自車側に寄っている時など、乗り降りをしやすくするため、あえて駐車エリアの真ん中からズラして駐車をする場合ってありますよね。 自分の運転なら隣のクルマの駐車状況やドアの開け閉めのしやすさなどを考慮して、クルマを停める位置を決めますが、プロパイロット パーキングはこのような設定をすることができません。 そのため、隣の区画に停車をしているクルマの状況などを考えずに、常に駐車場の真ん中に停車をしてしまいます。 そのため、逆に乗り降りがしにくくなってしまうことが…。 新型セレナ(SERENA)に搭載されているプロパイロット パーキングも、このような設定ができるようになればもう少し使い勝手は良くなるのかなと思いました。 まとめ：思ったよりも使い勝手は良い新型セレナのプロパイロット パーキング 2022年11月にフルモデルチェンジをして新発売をした新型セレナ(SERENA)のe-POWERに搭載されているプロパイロット パーキングの機能や使い勝手を確認したところ、このようになっていました。 ■新型セレナのプロパイロット パーキングのまとめ ・e-POWERのXVグレード以上に搭載可能 ・ルキシオンはプロパイロット パーキングを標準装備 ・新機能のメモリー機能を搭載 ・ルキシオンはリモート操作も可能 ・プロパイロット パーキングの価格は実質7万円 今回デビューをはたした新型モデルは、認識＆検知の性能が高くなた最新のプロパイロットパーキングを標準装備しています。 また、サイドブラインドビューモニターやリモート機能など、駐車を苦手としていない人でも使える機能を備えているのも特徴のひとつです。 この新型モデルのプロパイロット パーキングの価格は実質7万円前後とお手頃ですし、お守り代わりにプロパイロット パーキングを装着しても良いかもしれませんね。

公開日:2021/10/09 10:00　最終更新日:2021/10/09 10:00 筆者：まるも 亜希子 カメラマン：MOTA編集部 記事で紹介した商品を購入した場合、売上の一部が株式会社MOTAに還元されることがあります。 商品価格に変動がある場合、または登録ミスなどの理由により情報が異なる場合があります。最新の価格や商品詳細などについては、各ECサイトや販売店、メーカーサイトなどでご確認ください。 これまでの一括査定は、たくさんの買取店からの電話が面倒でした。MOTA車買取なら、最大20社の査定額をwebで簡単比較。やり取りするのは査定額上位の3社だけ。車の査定が楽に完結する仕組みです。 これまでは、買取店に会わないと査定額がわからず、比較がしづらい仕組みでした。MOTA車買取は最短3時間後、最大20社を簡単比較。加えて、買取店は査定額上位3社に選ばれるために競い合うから、どうしても高く売れてしまいます。 ■エクストレイルのプロパイロットパーキングを試す●驚愕！　完璧！　な自動駐車システム●感心した点【試乗車主要諸元】 その精度の高さにぶったまげました。 リアル試乗・エクストレイル第8回目は、プロパイロットパーキングを試します。 車庫入れ、駐車操作に付随する話なので、いわば今回は車庫入れ編のショート延長戦です。 いやあ、久しぶりに「技術の日産」を認識させられた出来でした。●驚愕！　完璧！　な自動駐車システム スイッチ操作をすればクルマ自身が車庫入れ操作をしてくれるデバイスの初ものは、2代めブリウスに搭載されたインテリジェントパーキングアシストです。 その後改良はされていますが、基本的にはバックカメラ画像から把握した駐車位置をねらってハンドル操作をするだけのもの。 エリアセンサーも持っていなかったので、そもそものスタート位置と駐車枠の位置関係がシステムの望むとおりでなければ平気でフェンスにバックしてくような、何ともトホホなものでした。 その後カローラではエリアセンサーを与えて空間認識機能も併用する改良型も登場しましたが、クルマによりけりでいまのToyota Safety Senseに含まれる自動駐車デバイスは、2代めブリウスの「トホホ」などすっかり過去のものというほど確実性の高いものになっています。 で、こちら日産のプロパイロットパーキング。 プロパイロットが行うことができる駐車操作は、通常の「車庫入れ」「縦列駐車」、アタマからスペースに突っ込む「前向き駐車」の3種類。 ここではいちばん使用頻度が高いと思われる車庫入れ操作を、街の駐車場で、あえて取扱説明書を見ないで試してきました。 プロパイロットパーキングに必要なセンサーは、要するにインテリジェントアラウンドビューモニタ用のセンサーがそのまま使われる。 リヤ用。 プロパイロットパーキングに必要なセンサーはインテリジェントアラウンドビューモニターとまったく同じ。すなわちNISSANマーク下のフロントビューカメラ、左右ドアミラー下面ひとつずつに取り付けられたカメラ、バックドアのリヤビューカメラ。そして前バンパーに6つ、後ろバンパーに6つ、計12のソナー。 プロパイロットパーキングスイッチ。 車内にまわり、操作に必要なのはシフトレバー前方の、ハンドルの絵に「P」が重なった「AUTO」ボタン（プロパイロットパーキングスイッチ）、そしてモニターに映ったプロパイロットパーキング画面のチョンチョンタッチのみ。 ボタン類が少ない分操作も極めて簡単で、クルマを入れたいスペースが見えてきたら停車し、「AUTO」ボタンを押す。これが第1ステップ。 あそこに入れよう。 外から。 収める場所を決めたらいったん停止し、プロパイロットパーキングスイッチを押す。 スイッチを押すと画面がこのようになる。 ボタンを押すとプロパイロットパーキング画面に変わって自車マークと周辺、フロントビューが映し出され、このとき自車が駐車枠に対して半端な位置にあれば、少し前進するよう指示が出ます。 可能枠が真横に来ればPマークが表れ、無視して通過すればPが○に変わって次の枠の真横にPが表れる。ここで○をタッチすればPマークに変わる。 たまたまクルマが認識しなければドライバーのほうで指定することも可能で、左上の「△▽」をチョンチョンタッチすれば微調整で決めることもできる･･･このへん、操作にめんどうくささがいっぱい感じられず、直感的に操作することができます。 自動駐車可能なスペース前に来ると「P」が表れるが、 通過すると次の可能スペースに「P」が表示され、前回の候補スペースは「○」に変わる。 駐車位置の検出が不正確なら、画面左上の「△▽」をチョンチョンタッチすればいいが、もともとの検知精度が高いので、今回は必要なかった。 今回は試すためにいろいろとやってみたわけですが、たいていの場合はドライバーが停めたいと思った場所とクルマが「ここ！」と考える場所は一致することでしょう。 車両サイド（ここでは左側）の2本の点線の間に区画線が入るようにする（約1m）とシステムは駐車位置の検出がしやすくなるが、そうでなくとも認識度は高かった。 写真のモニター画像で、車両両脇それぞれに、緑の点線2本があります。後で取扱説明書を見ると「2本の点線の間に駐車枠が入るようにすると駐車位置を検出しやすくなる」とありましたが、写真のようにいくらか無視してもきちんと駐車しました。かなりの柔軟性を有しているようです。 停めたい場所のPを決めたらその枠の前でいったん停止し、第2ステップとして画面内の「駐車開始」をタッチ。静かにブレーキペダルを離すとクルマ任せのパーキング操作が始まります。 通常のドライバーにとる駐車操作同様、まずいったん右斜め前（左後退駐車の場合）に出るところから自動操作スタート。「さてさて、どこまで自動でやってくれるのかいな？」と膝に手を置いて観察すると、前進してハンドルが勝手にぐるぐるまわるのにはいまさら驚きはしませんが、いったん右斜め前に出てハンドルを切り替えし、再度バックの入れ、あるいは途中の切り返し･･･一連の駐車操作すべてを自動でやってのけました。 つまりその途中のシフトDからRへの切り替えまでをもクルマ自身がやってくれたわけ。 「トヨタより進んでいるな」と思いましたが、考えて見たら、以前ニこで採りあげたヴォクシーはガソリン車。電気シフトでないこともあり、シフト操作だけはドライバー頼りでしたが、ハイブリッド車になると電気シフトになるので、確かめてはいませんが、もしかしたら自動でDとRを切り替えるかもしれません。 入れる位置が決まったら「駐車開始」をタッチ。 まずは右斜め前ににじり出る。 すぐさまハンドルが自動でまわり、右斜め前に移動する。 しかるべき位置でいったん止まったら･･･ それまで「D」だったシフトが･･･ 勝手に「R」にシフトする。 画面がリヤビューに変わり、狙うスペースが赤枠で囲まれた絵が表れる。 そのときの左斜め後ろのようす。 なかなかうまい。 おーおー。 おーおーおーおー。 ドアミラーでの白線との間隔は･･･ 左右ともほとんど同じだ。 ピタッと停まったら･･･ シフトが「P」に入って終了。 それはさておき、プロパイロットパーキングは狙うスペースへの収容も正確で、左右ドアミラーを見ればボディと駐車枠との間隔も左右均等･･･ではありましたが、駐車完了後にクルマを降りて外から見ると、最終的には枠線の中央からわずかに右にオフセットしていたのはご愛敬。何度か自動切り替えしていする間に右寄りになったようです。まァ許容範囲です。 先端も枠線に対してちょうどいい位置に収まっています。 いずれにしても一発でいともケタなひとの入れ方よりよほどきれいに収まっており、初めてプロパイロットパーキングを使ったひとは「やるな、エクストレイル！」と思うでしょう。 外から見てみるとこのとおり。 実際には右がいくらかせまく、右に･･･ オフセットしていましたが、まあうまかったから見なかったことにしよう。愛敬、愛敬。 フロント側はこのとおり。 後ろ側。 ここまでの一連を外から見たときの様子をお見せします。 外から撮った様子を見てみよう。まずは1。ここから最後まで、筆者はハンドルにもブレーキペダルにも一切手足を触れていません。 2 3 4・ここでいったん止まり、 5・前輪を直進状態にし、 6 7・シフトをRに入れる。 8・バ～ック！ 9・バ～ック！ 10・バ～ック！　バ～ック！ 11・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 12・ん？ 13・いったんまたここで止まったぞ？ 14・おろ、また前に出た。 15・うまく入らないからと切り返ししやがった。なまいきな！ 16・縁石ギリギリまで迫るのがにくらしい。 17・はい、またバ～ック！　18・バ～ック！　バ～ック！ 19・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 20・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 21・あら、また止まった？ 22・ハンドルまわして･･･ 23・まーた前に出やがった。 24 25 26 27 28・ここでは前輪が段差にぶつかるまで前に迫り出た。ちゃんと車両感覚を正確に把握している（自分なんだからあたり前だ）。 29・あまりやってはいけないことになっている据え切りをやっているが、自分の体は自分がいちばんわかっているのだからいいのだ。 30・はい、またバ～ック。 31・バ～ック！　バ～ック！ 32・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 33・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 34・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 35・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 36・バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！　バ～ック！ 37・もうちょいもうちょい。 38。はい、スターップ！ 39・ご苦労。 ●感心した点 ヴォクシーも同じでしたが、何かの理由で動作中にドライバーが本能的にブレーキを踏んでもキャンセルしないこと、実は前回の「車庫入れ編」では触れませんでしたが、この車庫でプロパイロットパーキングを試したとき、段差や勾配があってもそれが些少ならキャンセルすることなく継続したことに感心。これが縁石ぼの高さだとさすがにキャンセルしますが、しかし段差のない駐車場ではかなり実用性が高いと見ました。 これまでこの手のデバイスは正確性に欠けていたり、「ここは人手頼りか」という部分があったりと、期待外れのものが少なくなかったのですが、いまのところ自動駐車アシストデバイスとしては日産がいちばん進んでいるのではないかというのがプロパイロットパーキングを試しての感想でした。 もうひとつ感心したのは、乗る人間に不安やがっかり感を微塵も抱かせることないほど高度な働きを見せるデバイスの割に、操作が実に簡単なことです。メインのスイッチを押し、モニター上のターゲットスペースに指1本チョンすればそれでおしまい。たまたま自車とスペースの位置関係がずれていれば微調整もできますが、それとてチョンチョンタッチのシンプル操作。誤認識もしない。プロパイロットのアダプティブクルーズコントロールと違い、こちらはおそらく初めて乗るひとでも取扱説明書を見ずして操作できると思います。 いつもと同じく、試乗に撮影、記事書きに画像加工、すべてをひとりで行っていて、実践は外で確認してくれるひとがいないため、間違いが起きないよう、両脇にクルマがない3台スペースの中の真ん中を使いましたが、実感からすると、満車に近い駐車場で、運よくやっと見つけた、たった1台分のスペースにも正確に入ってくれそうな仕上がりでした。 単独行動の制約から「縦列駐車」「前向き駐車」は試しませんでしたが、少なくとも「車庫入れ」機能についてだけいうなら、「ここがこうであれば」「ここは要改良」などと難癖つける部分はただのひとつもありはしません。 開発陣が「やっちゃえNISSAN」の意気込みで造った･･･かどうかは知りませんが、プロパイロットパーキングを試した筆者の感想は、「やったな、日産！」。 拍手！ 「リアル試乗」にしてはめずらしくほめっぱなしのまま、次回「ユーティリティ編」になだれ込みます。 おしまい。 （文／写真：山口尚志）【試乗車主要諸元】■日産エクストレイル　Ｇ e-4ORCE　アクセサリー装着車〔6AA-SNT33型・2022（令和4）年7月型・4WD・ステルスグレー＆スーパーブラック2トーン／ブラック内装〕★メーカーオプション（税込み）・アダプティブLEDヘッドライトシステム（オートレベライザー付）：3万3000円 ・クリアビューパッケージ（リヤLEDフォグランプ）：2万7500円 ・BOSE Premium Sound System（9スピーカー）：13万2000円 ・ステルスグレー／スーパーブラック 特別塗装色：7万7000円 ・ルーフレール＋パノラミックガラスルーフ（電動チルト＆スライド、電動格納式シェード付）：18万1500円 操作例：車庫入れ（右側） 駐車したい場所の手前で停車する プロパイロットパーキングスイッチを押す 手順2：注意、知識について プロパイロット パーキングが起動します。 ゆっくりと前進し、駐車したい場所の真横（約1m）でブレーキペダルを踏んで停車する 自車の運転席ドア付近が駐車したい場所の中央付近になるように車両を停止させてください。 停車している状態で、駐車したい場所に が表示されていることを確認する 手順4：注意、知識について が表示されている駐車場所内や周辺に近接した障害物がないこと、車両が駐車できる十分な広さがあり、駐車可能な場所であることを確認してください。 ブレーキペダルを踏んだまま画面上の駐車開始をタッチする 手順5：注意、知識について 駐車制御を開始します。 制御を開始するとプロパイロット パーキング制御表示が緑色になり自動でブレーキをかけて停車状態を保持します。 ソナー、カメラで検出した障害物により駐車位置まで移動ができないと判断した場合、駐車制御を開始できません。通常走行で駐車を行なってください。 プロパイロット パーキングスイッチを押しながらブレーキペダルを徐々にゆるめて車両をゆっくり前進させる 手順6：注意、知識について 切り返し目安枠の方向（矢印の向き）に車両が移動します。 周辺状況に応じてブレーキペダルを踏んで車速を調整してください。 プロパイロット パーキングスイッチを離すと車両が停止します。 再度押し続けると駐車制御が再開されます。 切り返し目安枠(緑色)に到達するとシフトポジションが自動で切り替わり、車両が後退する 手順7：注意、知識について 障害物などがあり切り返し目安枠に到達できない場合は、ブレーキペダルを踏んで障害物の手前で車両を停止させ、セレクトレバーで進行方向を切り替えてください。 駐車制御の進行方向を切り替える 駐車目安枠(赤色)に到達すると車両が停止し、駐車制御が終了する 手順8：注意、知識について 駐車制御が終了すると、音と表示でお知らせします。 そのとき、シフトポジションがPに切り替わり、電動パーキングブレーキが作動します。 駐車制御が終了したら、プロパイロット パーキングスイッチから手を離してください。 駐車目安枠（赤色）に到達する前に駐車制御が自動で終了することがあります。 駐車制御中（車両移動時）の自動終了について 障害物などがあり駐車目安枠に到達できない場合は、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させ、画面上のキャンセルをタッチしてプロパイロット パーキングを終了し、駐車をする、または適切な位置に車両を移動させてください。 以下の場合には、プロパイロット パーキングを起動できません。 車速が約20km/h以上のとき ドアミラーが閉じているとき 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開いているとき システムが故障しているとき ナビゲーションシステムが起動中のとき カメラを押し、インテリジェント アラウンドビューモニター画面上のをタッチしても、プロパイロット パーキングを起動できます。 プロパイロット パーキング作動中はオーディオなどの音量が小さくなります。 周りの状況をミラーや目視で直接確認し、周囲の車両や障害物、人に接触しそうな場合は、ブレーキペダルを踏み車両を停止してください。 状況が改善しないときは、プロパイロット パーキングの使用を中断してください。 画面上のキャンセルをタッチすると駐車制御を終了することができます。 障害物目安線は駐車位置に移動する際に車両の一部がはみ出す可能性がある範囲の目安を示します。 車両やポールなどの障害物が障害物目安線より外側にあるときに円滑な駐車を行うことができます。 駐車目安枠が実際の駐車可能な位置に表示されない場合（障害物や側溝にかかるなど）、適切な駐車位置に手動で設定してください。 駐車目安枠の調整 車両を停止させた状態で駐車開始をタッチせずにプロパイロット パーキングスイッチを押し続けると、自動的にブレーキがかかり停車状態を保持します。 車両を移動する場合はセレクトレバーを操作し、アクセルペダルをゆっくり踏み込み移動します。 駐車方法切り替えアイコンをタッチすると、駐車方法を変更することができます。 駐車方法を変更する 駐車位置（◎）をタッチすると駐車位置を選択することができます。 方向指示器を作動させると、作動方向の駐車枠を検出します。 キャンセルをタッチすると車両が停止し、電動パーキングブレーキが作動してプロパイロット パーキングが終了します。駐車制御開始前にタッチすると、前の画面に戻り駐車位置の検出を再開します。 アクセルペダルを操作するとブレーキが解除されます。 駐車制御を開始するとソナー機能が自動でONになります。 プロパイロット パーキングが終了すると、アドバンスドドライブディスプレイで設定されたソナーの設定状態に戻ります。 カメラ補助ソナー機能OFFについて アドバンスドドライブアシストディスプレイについては車両取扱説明書をご覧ください。 駐車制御中は現在地、メニュー、AUDIO･TVを押しても画面は切り替わりません。カメラを押すと、プロパイロット パーキングは終了します。 プロパイロット パーキングの終了のしかた 設定した駐車位置やソナー、カメラで検出した障害物の位置により、駐車位置までの経路と切り返し回数が変わります。 以下の場合には駐車制御を開始できません。状況が改善してから、プロパイロット パーキングスイッチを押し続けると駐車制御を再開できます。 運転席のシートベルトを締めていないとき シフトポジションがPのとき 電動パーキングブレーキが作動しているとき VDCがOFFのとき 急な勾配のある場所では駐車支援を開始できません。通常走行で駐車を行ってください。 ソナー、カメラで検出した障害物により駐車位置まで移動ができないと判断した場合、自動的に駐車制御を終了することがあります。 適切な位置に車両を移動させてください。 駐車車両などの障害物が障害物目安線にかかっている場合、ソナーが障害物を検知して車両が停止し、駐車を完了できないことがあります。 パワーオフの状態で、車外から専用キーの起動ボタンを押すとクルマが始動。前/後の遠隔操作ボタンを押すとクルマが動き、ボタンを離すと止まります。狭いスペースでも、車外からの操作でクルマを前後に動かすことができ、乗り降りや荷物の出し入れが楽になります。 日産アリア セレナ ※駐車スペースの障害物の有無や距離を検知しますので、駐車枠線がない駐車スペースでも作動します。また約6%（10mの距離で60cmの上下差）の勾配まで作動します。 ※駐車位置を正しく検知させるため、駐車スペースに対して前進、後退の場合とも、直進で駐車できる位置から開始してください。駐車スペース左右に駐車車両など障害物がある場合には、ハンドルの微修正が行われます。 ※夜間や悪天候時でも作動します。ただし周囲の状況を検知できない状況下では作動しないことがあります。 ※プロパイロット リモート パーキングの作動には、リモート操作を行う車両の左右方向には それぞれ40cm以上、前後方向には障害物が検知されないスペースが必要です。 プロパイロット リモート パーキングのシステムの能力には限界があり、天候や路面、障害物の状況などによっては作動しないことがあります。機能に頼らずリモート操作中は必ずキー操作者自身で周囲の安全を確認してください。 ※最終の仕様とは異なる場合があります。 ※プロパイロット リモート パーキングの設定条件は、車種・グレードにより異なります。詳しくはカーライフアドバイザーまでお問い合わせいただくか、取扱説明書をご覧ください。 日産車に搭載される自動運転技術、プロパイロット。 「プロパイロットパーキング」なら、さらに駐車も自動でコントロール。 駐車が苦手な人や慣れない場所でも安心です。 この技術は、セレナの駐車支援システム「インテリジェントパーキングアシスト」とはどう違うのでしょうか？ この違いについてご紹介します。 出典：日産リーフサイト プロパイロットパーキングは国産車では初となる自動駐車システム。 日産リーフで採用されました。 EVとしての印象が強いリーフですが、プロパイロットなどの先進安全装備も見逃せないポイントです。 プロパイロットパーキングとはどのようなシステムなのでしょうか。 出典：日産リーフサイト プロパイロットパーキングはスイッチ操作一つで駐車に必要な作業のすべてをコントロールしてくれます。 以下の操作を自動で制御し、かつ安全に自動駐車を行います。 アクセル ブレーキ ステアリング シフトチェンジ パーキングブレーキ これらのすべてを、スイッチを押すことで実現します。 プロパイロットパーキングは次のような仕組みにより自動制御を可能にしています。 出典：日産リーフサイト リーフは4つの高解像度カメラを搭載しています。 車両前方3カ所・後方1カ所に設置。 これはセレナも同じで、フロント×1、サイド×1、ずつリヤ×1と車両の前後左右にカメラが取り付けられています。 またリーフには車両周囲に12個のソナーがあります。 4つのカメラからなるリアルタイム画像処理とソナー情報とを組み合わせることで車両周辺の状況を検知。 この情報をもとにアクセル、ブレーキ、ステアリング、シフトを連動させ正確に車両をコントロールするのです。 ステアリングの自動制御だけでも十分驚きに値すると思うのですが、最後にシフトチェンジ・パーキングブレーキまでもやってのけるのが本当にすごいです。 では一方で、セレナに採用されている駐車支援システムはどのようなものなのでしょうか。 出典：日産セレナサイト セレナの駐車支援システムはインテリジェントパーキングアシストです。 プロパイロットパーキングに負けず劣らず未来を予感させるネーミングですね。 これはプロパイロットパーキングと比べるとどんな機能かわかりやすいです。 プロパイロットパーキングの制御する操作のうち、インテリジェントパーキングアシストが行うのはステアリングのみとなります。 そのほかのアクセル・ブレーキ・シフトチェンジ・パーキングブレーキに関してはドライバーが手動で行います。 セレナの場合はあくまで、駐車「支援」システムなのですね。 先にプロパイロットパーキングから入るとどうしても見劣りしてしまう気がしますが、これだけでも十分先進的と言えると思います。 プロパイロットパーキングとインテリジェントパーキングアシストの違いがわかったところで、もう少し詳しく操作手順をみていきます。 プロパイロットパーキングは大きく3つのステップで自動で駐車を完了させます。 駐車の仕方も、前向き駐車、後向き駐車、縦列駐車と選択することが可能です。 ここでは前向き駐車で解説。 まず駐車したいスペースの手前まできていったん停車します。 そしてプロパイロットパーキングスイッチを1回押してからゆっくり前進。 駐車したいスペースの真横に車を停めます。 車が駐車可能スペースを自動検知します。 検知されるとナビ上に「P」のマークが表示されます。 これを確認して、ブレーキペダルを踏んだまま「駐車開始」。 プロパイロットパーキングスイッチを押しながら、ブレーキペダルを徐々にゆるめていきます。 自動駐車が開始したら、完了するまでずっとプロパイロットパーキングスイッチを押し続けます。 このときスイッチを離したり、ブレーキ・ステアリング操作をすると車は停止してしまいます。 逆にいえば、ドライバーが何らかの異常を察知して途中で自動駐車を解除したいときにそのような操作をすればいいことになります。 「キャンセル」をタッチすることでも解除できます。 駐車が完了すれば自動で電動パーキングブレーキが作動し、「P」にシフトチェンジされます。 ＊「プロパイロットパーキングの操作手順」の画像はすべて日産リーフサイトから 出典：日産セレナサイト 今度はインテリジェントパーキングアシストの使い方です。 全体的な流れはプロパイロットパーキングと同じです。 ただプロパイロットパーキングより手動での操作が増えてきます。 ここでは後向き駐車の説明です。 プロパイロットパーキングの操作画面は、通常速度などが表示されるメーターパネルのところに表示されます。 日産純正ナビ、アラウンドビューモニター対応の社外ナビがある場合はナビ表示もできます。 要領はプロパイロットパーキングのときと同じです。 駐車スペースを見つけて、その手前で停止。 出典：日産セレナサイト インテリジェントパーキングアシストのスイッチを押します。 駐車方法を選択。 ステアリングスイッチの「OK」を押します。 ゆっくり前進して駐車したいスペースの1mほど横に車をつけます。 停車している状態で画面上の枠の位置を確認します。 周囲の安全を目視で確認しつつ、車を移動させて調整します。 「OK」スイッチを押してシステムを作動。 出典：日産セレナサイト ハンドルに手を添えながら、ブレーキで速度を調整しつつゆっくり前進します。 切り返し目安枠(薄い線の枠)までステアリングは自動で制御されます。 枠まで到着したら手動でシフトレバーを「R」にチェンジ。 ブレーキで速度を調整しながら後退していきます。 駐車したい場所まで車を移動したら、ブレーキを踏み手動でシフトレバーを「P」にします。 ＊以上の出典： プロパイロットパーキングやインテリジェントパーキングアシストは実際どんな場面で役立ちそうなのかイメージしてみましょう。 ドライブは好きだけど、駐車は苦手な方は、特に女性などに多いかもしれません。 そんな人には心強い味方です。 駐車場のスペースというのは広いところから狭いところまで様々です。 限られたスペースしかない立体駐車場に停めるとき、縦列駐車をしなければならないときなど重宝しそうです。 駐車の仕方を選べるので柔軟に対応できるところが嬉しいですね。 前向き駐車など運転に慣れている人ほどする機会が意外と少ないかもしれません。 このように車の駐車に慣れている人から慣れていない人まで、自動駐車・駐車支援システムは嬉しいものです。 ただ、セレナユーザーでインテリジェントパーキングアシストを使っていない人が多います。 なぜなら設定が面倒だから。 インテリジェントパーキングアシストの操作手順でみたように、手動操作が多くなってくると「自分で操作した方が早い」というふうになってきます。 また道路沿いの狭い駐車場で、本当は自動で駐車したいけれど悠長に設定をしている暇がないというシーンも多いと思います。 そう考えるとプロパイロットパーキングレベルかそれ以上にスピーディに設定できないと利用できる機会は限定されてきそうですね。 リーフに採用されているのがプロパイロットパーキング。 これはアクセル・ブレーキ・ステアリングからシフトチェンジ・パーキングブレーキまでを自動制御する技術です。 一方でセレナに採用されているのはインテリジェントパーキングアシスト。 こちらが自動で制御するのはステアリングとなります。 両者にはこのような違いがあります。 インテリジェントパーキングアシストのステアリング操作だけでも先進的ではありますが、設定に時間がかかり利用していないユーザーも少なくありません。 常に周囲の交通状況を考慮しなければならないので、スピーディに設定できなければせっかくの機能も利用する機会が減ってしまいます。 この辺を修正できればプロパイロットなど同様にセレナの先進安全機能の目玉としてピックアップできるでしょう。 それでは最後までお読みくださりありがとうございました。 関連記事：セレナ自動ブレーキの性能は悪い？仕組み・評価と事故例・他車比較 Page 2 カーリースと中古車購入を徹底比較！おすすめカーリース5社も紹介 カーリースは貧乏人向け？そんなことない理由と中古車との比較について解説 車のローン審査に落ちる理由とは？審査基準を知っておこう 3ステップの操作だけで駐車完了するまでドライバーをアシスト。 ステアリング、アクセル、ブレーキ、シフト、さらにパーキングブレーキまですべて制御。 道路脇の縦列駐車も、ショッピングモールの並列駐車も、車庫入れなどさまざまな駐車スペースで、まるでクルマ自身に知能があるかのように作動。駐車の常識が変わります。 ※日産アリアのプロパイロット パーキングは操作方法が一部異なります。詳しくはカーライフアドバイザーにお問い合わせいただくか、取扱説明書をご覧ください。 車両搭載技術安全快適性・利便性自動運転・運転